

財団法人全日本柔道連盟

平成21年度 第2回理事会・評議員会 協議事項・報告事項

2010年3月18日(木)、講道館において本連盟の平成21年度第2回理事会・評議員会を開催した。
協議事項はすべて承認され各種報告が行われた(評議員会の議事を下記する)。

平成21年度 第2回評議員会次第

1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 協議事項
 - 第1号議案 平成21年度補正収支予算計画書について
 - 第2号議案 平成22年度事業計画について
 - 第3号議案 平成22年度収支予算計画書について
 - 第4号議案 昇段時における登録の「遡及」の取り扱いについて
 - 第5号議案 (財)全日本柔道連盟登録規定における「登録の拒否」条項の改正について
 - 第6号議案 新登録管理システムの導入について
 - 第7号議案 小学1年生からの「顔写真つき登録カード」の無償配布について
 - 第8号議案 全日本柔道「形」競技大会の参加資格について
 - 第9号議案 国際柔道連盟試合審判規定・少年規定(案)の制定について
 - 第10号議案 全柔連主催各大会における審判規定について
 - 第11号議案 役員を選任
 - 第12号議案 参与の委嘱について
 - 第13号議案 その他
 4. 報告事項
 - (1) 任期満了前の評議員の退任に伴う新評議員の選任
 - (2) 評議員の選任
 - (3) 役員を選任 ①副会長 ②専務理事
 - (4) 専門委員会委員長・副委員長の選任
 - (5) 事務局長の選任
 - (6) 各種「表彰」一覧
 - (7) 総務委員会
 - (8) 大会事業委員会
 - (9) 広報委員会
 - (10) 教育普及委員会
 - (11) 審判委員会
 - (12) 強化委員会
 - (13) 国際委員会
 - (14) 医科学委員会
 - (15) 柔道ルネッサンス特別委員会
 - (16) 指導者養成プロジェクト
 - (17) アンチドーピング特別委員会
 - (18) 世界柔道選手権2010東京大会実行委員会報告
 - (19) その他
 5. 閉会
- ルネッサンス活動の功績のあった都道府県柔道連盟(協会)の表彰

【協議事項及び報告事項の一部】

【協議事項】

■第5号議案 (財)全日本柔道連盟登録規定における「登録の拒否」条項の改正について

競技者登録しようとする者以外については、登録に要するプロ登録・契約の終了から3年の経過期間を、1年間に短縮し、柔道を指導している者も早期の指導者登録が可能になるよう、改正する。

■第7号議案 小学1年生からの「顔写真つき登録カード」の無償配布について
小学校低学年からの登録促進、及び登録費還元策の一環として、小学1年生～3年生、小学4年生～6年生の2回に分けて、顔写真付き登録カードを無償配布する。

■第8号議案 全日本柔道「形」競技大会の参加資格について
10月31日(日)に開催される平成22年全国柔道「形」競技大会について、地域枠で10組、全国枠では最大2組の最大12組とし、1人1種目の出場とする。

■第9号議案 国際柔道連盟試合審判規定・少年規定の制定について
(4・5頁参照)

■第10号議案 全柔連主催各大会における審判規定について
全柔連主催の各大会(以下)では2010年5月1日以降、国際柔道連盟試合審判規定が適用される。全日本選抜体重別選手権、全日本女子選手権、全日本選手権、全国少年大会、全国教員大会、全日本少年少女武道錬成大会、全国高等学校大会、全国高等学校定時制通信制大会、全国中学校大会、全国小学生学年別大会、全日本ジュニア体重別選手権、全日本選抜少年大会、国民体育大会、全国青年大会、講道館杯全日本体重別選手権、全国高等学校選手権、近代柔道杯全国中学生大会。

【報告事項】

■平成21年度個人登録状況及び女性指導者活動促進計画について
個人登録数は平成22年3月16日現在で185,270名となり、19万人を切る状況である。今後も都道府県と連携しながら、登録会員の獲得に抜本的に取り組んで行く。登録会員掘り起こし策の一環として、女子の競技柔道が盛んに行われている中、高校・大学を卒業後、柔道活動から離れてしまった元女子柔道部員について、もう一度柔道に復帰させ、指導者としての活動を引き続き促進する。その環境整備のため、各都道府県に「女性登録推進委員会」を配置して組織的に活動を強化するとともに、全国的な情報ネットワークを構築していく。

■事故防止対策と「安全指導」講習会実施の方針
事故発生後の報告体制の充実(事故原因の特定と対策立案のため)を図る。事故分析を行うことで「安全指導」講習会などでそれを教材として活用する。高校、中学校の指導者に対象を絞った「安全指導」講習会を実施する。また、「安全指導」講習会講師の養成を推進し、体制を強化する。

■全国小学生学年別柔道大会について
平成23年度第8回全国小学生学年別柔道大会の開催は大阪府・大阪市の大阪市立中央体育館。小学生の試合では、2分間で行なうのが通例となっているが、平成22年度の大会より3分間にする。また、予選リーグを廃止し、トーナメント戦のみで行う。

■全日本ジュニア柔道体重別選手権大会の最軽量級の増設について
「世界ジュニア柔道選手権大会」では最軽量級が増設され、男女各8階級で行なっている。その選考会を兼ねる「全日本ジュニア柔道体重別選手権大会」においても、最軽量級(男子-55kg級、女子-44kg級)を増設し、平成22年度大会から実施する。

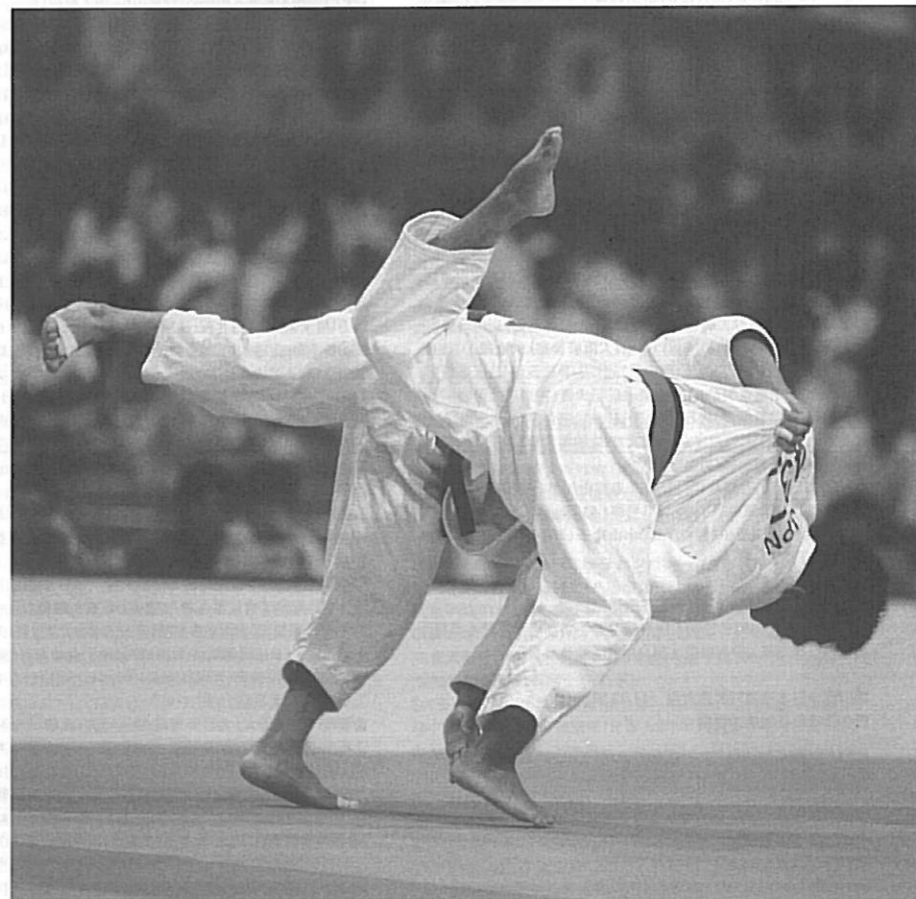


輝く未来へ、世界に翔け!

自分を信じてひたむきに、可能性の先にあるものを求めて。
追いつければきっと叶う。未来があるから頑張れる。

柔道界をリードする指導陣 監督/柳澤久 八段(元全日本女子監督) コーチ・主務/貝山仁美 参段(アジア選手権金メダル)
コーチ・主務/横澤由貴 参段(アテネ五輪 銀メダル) コーチ/手島奈美 四段(福岡国際3連覇・元世界選手権代表)
特別コーチ/恵本裕子 参段(アトランタ五輪 金メダル) 特別コーチ/真壁友枝 四段(アジア大会 金メダル)
実業団NO.1の実績 オリンピック:金メダリスト2名/銀メダリスト1名/銅メダリスト1名を輩出 世界選手権代表選手:延べ15名
全日本選抜体重別優勝者:延べ26名(2010年6月現在)

MS&AD 三井住友海上



SEIKO



スポーツカウンター メーカー希望小売価格 82,950円(税抜価格79,000円)お問合わせは、セイコースポーツライフ株式会社ストップウォッチ係 TEL.03-6834-2753